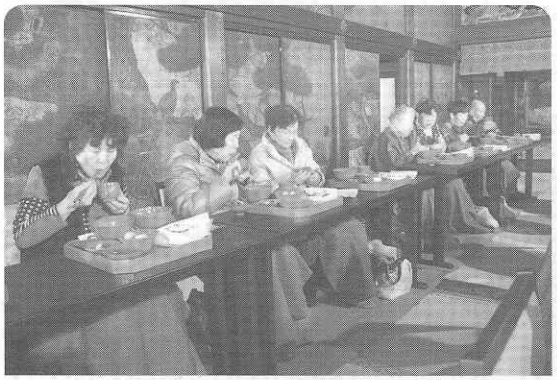
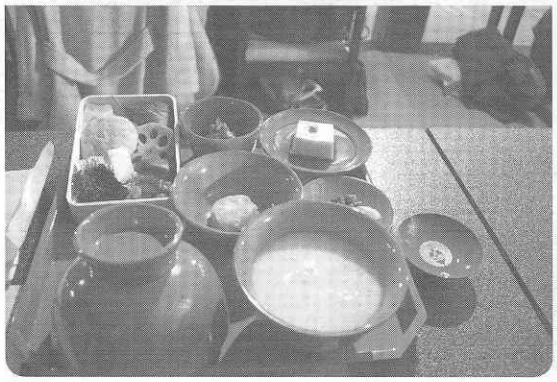
浄心寺だより

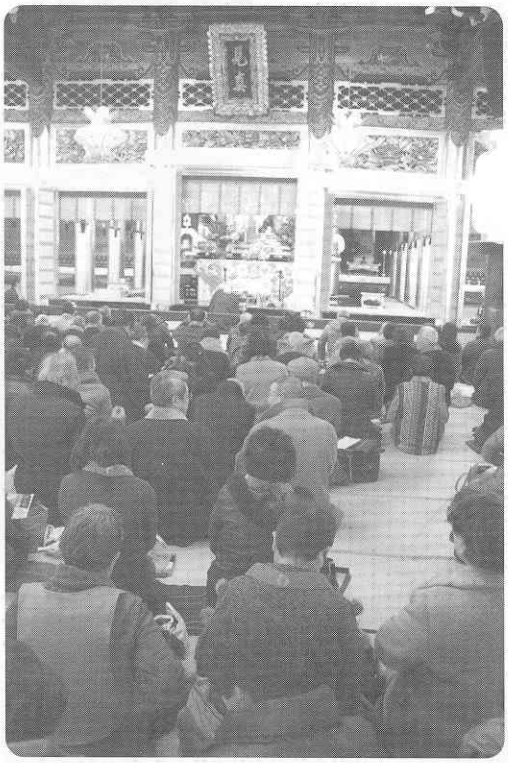
発行
浄心寺門信徒会
郵便番号714-0081
笠岡市笠岡2065
電話(0865)62-2623
FAX(0865)62-2595
振替01260-9-13760
http://joshinji.suki-ari.net/





本山ご正忌報恩講参拝

一月十一日



「み法を味わって」（十七）

往生（おうじょう）

往生とは、「往」は前進し、「生」は新しくなることです。始まること、つまりスタートです。死、終わる、困ったというような意味は、文字にも語にもありません。生まれる、出発です。

マラソンのスタートができるのは、その前に、長い練習と準備体操が必要であるように、浄土往生には仏法聴聞と、お念仏を称え、報謝活動に励む充実した人生がなくてはなりません。

歳と共に行き詰まりの壁が近づいてくる絶望の人生ではなく、私でも活躍できる力と場のある大きく開けた明るい希望の未来（彼岸）を目指して精一杯生き抜く、それが浄土往生の人生です。

くらやみの福（冥福）を祈ったり、安らかに眠るような目標でなく、安らかに目覚めて自他をしあわせにする道こそ仏道というのです。

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』転載

ごあんない

三月二十三日（金）十三時半より

春季 **彼岸会・永代経** 法要

講師 大崎上島町 加藤一英師

報恩講法要勤修

十二月二日、十三時半より報恩講法要が勤まりました。報恩講とは親鸞聖人の御命日をご縁に毎年勤める法要です。法座前には仏教婦人会の調理によるお斎（とき）をいただきました。シイタケやひりょうずなどの煮物、大根のおひたし、豆腐と油揚げとしいたけの味噌汁などの精進料理を、聚園で大変おいしくいただきました。

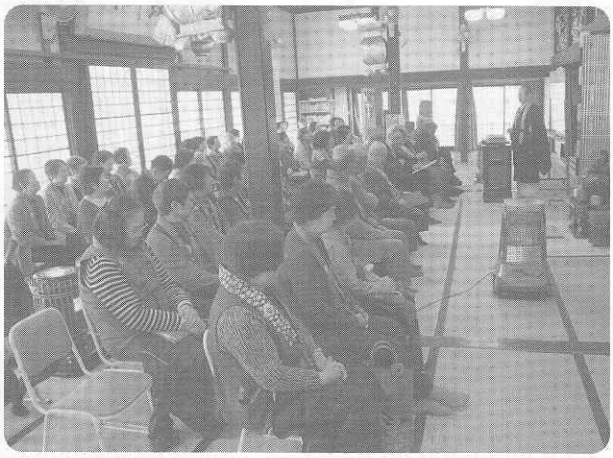
法要には多くの方にお参りいただきました。おつとめでは備中里組の法中（ほっちゅう）がたが内陣出勤され、正信偈をお勤めしました。最後には前住職が親鸞聖人の伝記『御伝鈔』を拝読。

ご講師は福山市内海町の善正寺、那須英信先生でした。先生には一昨年に続く報恩講のご縁です。

居眠りもしておれないぐらいの楽しいお話の中に、「聞名号」とはどういうことか、「南無阿弥陀仏」とは、「称名念仏」とは何か、ということなど、浄土真宗の教えの要をしっかりとわかりやすくお話しいただきました。

八月の広島での「平和の集い」に坊守さんと娘さんが参加されたお話もされ、八時十五分に行われる黙とうでは、テレビではわかりませんが、実際の現地では「なまんだ～ぶ、なまんだ～ぶ」という声があちこちから聞かれるとのことでした。さすが安芸門徒といわれる真宗どころだなあと感動して帰ってこられたとのことでした。

例年にもまして寒い日となりましたが、快晴の日差しの中での心あたたまる法座となりました。

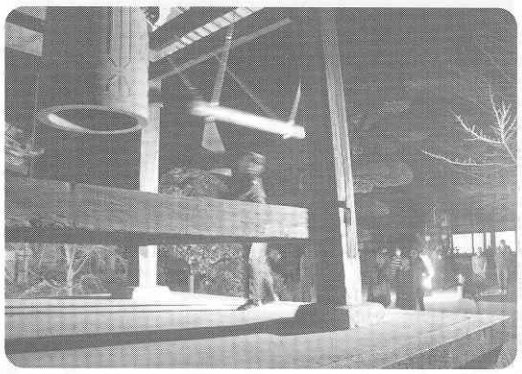


初参式

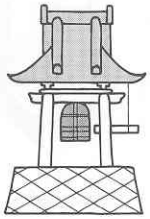
5月13日(日)
10時より

どうぞお申込みください。

除夜会・修正会



十二月三十一日に恒例の除夜の鐘を撞きました。参拝の方々や通りすがりの方々にも撞いていただき、0時を過ぎてから本堂で新年のおつとめ。その後、庫裡にお上がりいただき、おせち料理をいただきながら歓談しました。



降誕会のご案内

五月十二日（土）に宗祖降誕会法要が勤まります。

今年も時間を早め十三時より、恒例の仏教婦人会コーラス「コール清風」によるミニコンサートに続き、プロの音楽家数名によるチャリティコンサートを開催します。その後、恒例の落語を楽しみます。

この法座ではお供えや木戸銭はいただきません。どうぞお誘い合わされご参加ください。

降誕会寄席

今年は笑福亭生喬（せいきょう）さんにお越しいただきます。平成二十八年に続いて二度目のお越しです。大学時代には油絵を専攻するなど多才な方で、奥さまも落語の熱狂的なファンとのことです。

チャリティコンサート

今年もプロの音楽家によるチャリティーコンサートを開きます。募金を利用して発展途上国へ楽器を贈ることを目的としています。

これまで東南アジア、南米、アフリカなどの子供たちに、カスタネット、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、鈴などが贈られています。

ご賛同いただける方には募金箱にお気持ちだけでもお入れいただければ幸いです。

平成30年度　行事計画

◎春季彼岸会、永代経	3月23日（金）13時30分	大崎上島町・浄泉寺　加藤一英 師
◎花まつり	4月29日（日）昭和の日	
◎総　　会	5月12日（土）11時	
◎降 誕 会	13時	女声コーラス同好会 コール清風 音楽家の皆さん（チャリティ）
ミニコンサートと上方落語		**笑福亭生喬 師匠**
◎初 参 式	5月13日（日）10時	希望者とその家族
◎研修旅行	5月28日（月）・29日（火）	鹿児島、かくれ念仏を訪ねて
◎法宝物 虫ぼし法座	7月19日（木）13時30分	神辺町・光行寺　苅屋光影 師
◎サマースクール	7月23日（月）・24日（火）	教区内スタッフ3、4名
◎盂蘭盆会	8月15日（水）10時・14時	住職、前住職
◎秋季彼岸会、永代経	9月21日（金）13時30分	倉敷市・西方寺　幡多哲也 師
◎地区委員会	12月 1日（土）11時	
◎報 恩 講	13時30分	三原市・教専寺　福間義朝 師
◎除夜会、修正会	12月31日（月）・元旦	
◎新春のつどい	平成31年 1月中旬	
◎春季彼岸会	平成31年 3月	日時、講師未定
あさのおつとめ	通年毎朝 6時	
◇やさしい仏教講座	【50】4/11（水）【51】6/5（火）【52】8/15（土）	
親鸞さまのおしえ	【53】10/5（金）【54】12/7（金）毎回 19時30分 解説：住職	
◇念仏のつどい	毎月15日 13時30分より（但し1月、8月、9月は休み、6月と7月は朝7時半より）	
※「浄心寺だより」発刊	123号（5月）　124号（7月）　125号（11月）　126号（3月）	
仏教婦人会	例会 3/11 総会6/11 各種研修会 研修旅行 料理教室 福祉施設慰問 清掃奉仕など 5/13（日）初参式	
文化箏同好会	毎月第 1 水曜日 19時30分	指導：平田澄子 先生
女声コーラス コール清風	毎月第 2 土曜日 19時30分	指導：平田澄子 先生
ヨガ教室	毎週金曜日 10時30分	指導：藤本幸代 先生
備後教区	各種研修会　定例法座（毎月11日）　報恩講（11/30） 総代研修会	
備中里組	同朋研修協議会　キッズサンガ（青年部会主催行事） 第 7 期連続研修会（偶数月）	

家族そろってお聴聞　―― お法は心のビタミン、いのちのよりどころ ――

仏婦コーナー

アンカの園

御正忌報恩講参拝

有田　伊藤朋子

一月十一日、仏婦の研修旅行で門信徒会の方々と共に、ご正忌報恩講に遇うご縁をいただきました。

早朝の出発でしたが、本山御影堂の御真影さまの前で行われる、宗祖讃仰作法による日中法要に遇えました。前門さまはじめ大勢の僧侶方の読経、この場に私が居る不思議とありがたさを思いました。

その後、もう一つの楽しみ、国宝の鴻の間でいただくお斎の席へと進みます。「お斎は一汁五菜の精進料理が基本です」と説明されましたが、懐石の三の膳まであるかしらと思われるほど、多彩な菜の数々、おなか一杯になりました。が、それでも最後の「鞍掛饅頭」とお抹茶まで大変おいしくいただきました。お料理もさることながら、開明社中の旦那方の配膳やお給仕のスマートなおもてなしは、すごいな！の一言でした。

ご本山での一日でしたが、心もおなかも十分満たされて帰途につきました。（表紙に写真あり）

仏具おみがき

一年間の本堂の仏具の汚れを落とす「おみがき」が、十一月八日行われました。

この日は婦人会の方々総勢二十名で、九時より、取り外された仏具のおみがきを行いました。一つ一つの部品を流れ作業できれいに磨き、仏具も新品のような輝きを取り戻しました。

ダーナバザーのご案内

4月22日（日）
午前10時30分から
場所：浄心寺
みなさま
お誘い合わせのうえ
お越し下さい

箏同好会

実技演習お手伝い

文化箏同好会は本年一月末から二月にかけて、市内の小・中学校を平田先生と共に訪問し、音楽授業の一環の琴の実技演習のお手伝いをしました。小学校は五年生、中学校は一年生で市内の四校に順次出向きなつかしい日本古謡「さくらさくら」に取り組みました。

初めて琴爪をはめた生徒が大半でしたが、授業の終わりにはみんな滑らかに弾くことができ、中学生では2グループに分かれ、二重奏にも挑戦、若いとは何と素晴らしいことか。

教区清掃奉仕

十一月十一日（土）、教区内の方々と奉仕。当寺は三名の参加。

笠岡小学校
5年生の皆さん
「さくらさくら」を弾く

お斎の調製

十二月二日、報恩講のお斎を、二十一名の会員が奉仕。煮しめ、玉子焼き…と分担を決めて一一〇人分のパックを完成。

メニュー
◎ 大根なます
◎ きんぴらごぼう
◎ 煮しめ　◎ 玉子焼き

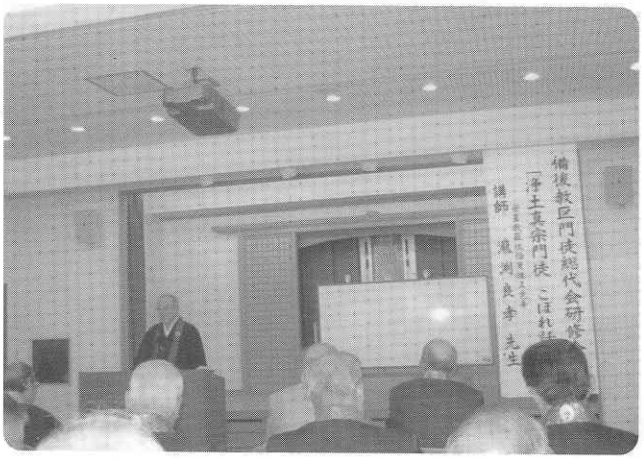
門信徒の広場

平成二十九年度 門徒総代会研修会

十月二十七日（金）、浄土真宗本願寺派備後教区主催の「門徒総代会」が尾道市御調町神の照源寺に住職及び門徒総代等関係者約九十人が集い開催されました。

開会の後安芸教区佐伯東組正覚寺の瀧渕良孝住職が「浄土真宗門徒こぼれ話」と題して講義、今AI（人工知能）の僧侶が袈裟を付けて念仏を唱える時代になっていると言うお話から、住職は住持職を略して住職と呼ぶが正式名は三宝住持職。お寺は誰のものか、すべて門信徒の皆さんのもの。又富山の薬売りは浄土真宗の家しか回らなかった等々、興味深いお話を拝聴致しました。

参加者は前坊守さんと総代の内海義郎、戸田眞左子、長安圭一、宍戸得二、藤井祐三の六名各氏でした。



新春のつどい

恒例の新春のつどいが一月二十五日正午より、聚園にて開催されました。参加者は四十一名でした。

讃仏偈をお勤めし、新年のあいさつをお互いに交わしたのち、平田澄子先生ご指導の文化箏同好会の箏の弾き初めがありました。初春らしい数曲がお披露目され、聚園に幽玄な調べが響き渡りました。

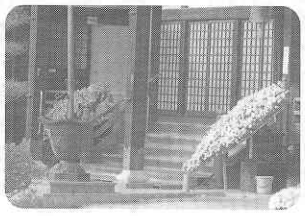
その後、会食しながらカラオケや余興を楽しみました。上杉佐世子さんの舞、水川愛子さんと太田ヒサエさんによる「銭太鼓」、女性陣による替え歌『減量節だよ人生は』の合唱など…。最後にはハズレなし？の福引きをして解散。

雪の舞う非常に寒い日でしたが、会場内は熱く盛り上がりました。

ありがとうございました

◎大菊
住谷大志さん
（入江）

◎境内補修用土砂
コウケン
髙田英志さん
（生江浜）



花まつり

4月29日（日）

甘茶をどうぞ

還浄（げんじょう）

（敬称略）

石井 敏克 吉浜
10月25日 ご往生 行年80歳

門信徒総代、門信徒会会長また備後教区教区会議員などをつとめ、当寺の進展に寄与してくださいました。

平成二十九年

水原 博	10・22	88	入江
桝平 厚枝	10・24	93	笠岡
末本 槇子	10・27	93	笠岡
市川 延枝	10・29	93	岡山市
稲葉 光義	10・29	63	伊丹市
森 正男	11・19	79	鴨方町
亀岡 靖房	11・21	73	里庄町
田代 末一	11・23	70	川崎市
藤井 正子	11・26	81	東大戸
友滝 富子	11・26	101	四番町
原田 千年	11・27	87	笠岡
倉増 久恵	11・28	67	大井南
藤下 静江	11・30	81	笠岡
髙田 貞枝	12・2	93	大島中
岩崎 幸治	12・8	80	美の浜
村上美和子	12・8	82	富岡
北村百合子	12・16	98	生江浜
橋野 厚夫	12・18	83	倉敷市
原田 昌美	12・19	101	笠岡

平成三十年

藤井 博志	1・8	91	生江浜
藤井 清	1・20	100	吉浜
松浦 截子	1・21	88	生江浜

浄土真宗

教えとそのあゆみ

七高僧のご事績（六）
第六祖　源信和尚（げんしんかしょう）

源信和尚は、天慶五年（九四二年）、大和国（奈良県）葛城下郡当麻郷に出生されて寛仁元年（一〇一七年）七十六歳で入寂されました。

十三歳の時、比叡山に登り、天台宗中興といわれる良源の門に入り、学問と修行にいそしまれました。性まことに非凡で十五歳の時、宮中において講経・法会の席につぎつぎ召され、大いなる栄誉を得られました。素晴らしい講義に感心した村上天皇から、褒美の布帛を賜りました。このことをお母さんに伝えれば、きっと喜んでくれると思い、その褒美の品をお母さんに送ったところ、喜ぶどころか、

後の世を導く僧とたのしみに
世渡る僧となるぞ悲しき

との歌を返されたそうです。以来、源信和尚は名聞・利養から決別し、ひたすら学問修行に徹せられたと伝えられています。

後に比叡山の横川に隠棲し、他力念仏の教えに帰依。四十四歳の時に『往生要集』三巻を著されました。この往生要集をもとに描かれたのが、浄心寺に伝わる四幅の『往生要集獄苦図』です。

浄心寺の法宝物　その19

「鳳譚」（ほうたん）

鳳譚は江戸期を代表する学僧の一人。摂津（大阪）池田の生れ。黄檗宗鉄眼の門下となり、八宗を兼学して多くの著作を世に問い、特に華厳に精通し、諸宗の学僧と論争しました。

書軸対幅
たて210cm　よこ25cm

当寺がこの書を所蔵した経由は不明ですが墨痕鮮やかな書跡は見事です。

薩摩かくれ念仏　③弾圧

浄土真宗の信仰が禁止されると、信者に弾圧が加えられた。厳しさは時代により異なるが、幕末期の天保6（1835）年に極みに達し、この時期に摘発されたご本尊は2000幅、門徒は14万人以上といわれている。（本願寺蔵『薩摩國諸記』より）

鹿児島別院（鹿児島市東千石町）の境内には「涙石（なみだいし）」と呼ばれる、拷問に使われたとされる石が伝わる。直径55センもある大きな石で、役人が門徒の疑いがある人を捕らえ、この石を抱かせて自白を迫ったと伝えられる。

阿久根市大川の鈴木段集落に伝わる鈴木段講間には、「身代わりの阿弥陀さま」と呼ばれる2幅のご本尊が伝わる。本願寺第18代文如上人（1789～99在位）の裏書がある。言い伝えには「摘発された際には偽物を差し出して本物を守った」とされるが、現在ではどちらが本物かわからなくなっている。

（本願寺新報
平成二十九年二月二十日号より）

平成30年度の研修旅行は別紙のとおり「さつまかくれ念仏探訪」として企画いたしました。
詳細ご高覧の上、ご参加ください。

★☆★ 研修旅行 ★☆★

平成30年5月28日（月）
～29日（火）1泊2日

鹿児島別院
磯庭園と尚古集成館
花尾念仏洞
知覧特攻平和会館　他

指宿海上ホテル（泊）

編集後記

門前の放生池に、カワセミが飛来する季節になりました。

昨年のお取り越し報恩講及び永代経法要等諸般の報告、本年三月二十三日開催予定の春季永代経彼岸会法要の御案内及び研修旅行予告、降誕会寄席等々の御案内をお知らせする浄心寺だより第122号をお届けします。

法要、法話等御聴聞に励まれ尊いご縁に遇われますように御案内いたします。

（編集委員会）